

**Q：寒冷地仕様の装備を教えてください。**

ハリアー

寒冷地仕様をメーカーオプションにて、ご用意しています。

選択いただくと、以下の表のとおり、装備されます。

なお、北海道地区の場合は寒冷地仕様が全車標準装備となります。

<○：設定あり -：設定なし>

装 備	説 明	寒冷地仕様	標準仕様	ターボ車	ハイブリッド車	ガソリン車
冷却水（L L C）	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。通常の濃度である、30%だと-15度ぐらいで凍結しますが、濃度を50%にすると凍結温度が下がり、約-35度ぐらいにならない限り、凍結しなくなります。	L L C濃度50%	L L C濃度30%	○	○	○
ウインドシールドデアイサー	雪だまりや凍結により、ワイパーが動かなくなることの防止を目的にフロントガラスに熱線を配したものです。（ <a href="#">下図1参照</a> ）	あり	なし	○	○	○
ウインドシールドワイパー	ワイパーモーターが寒冷地用で強力になります。	寒冷地用（モーター）	標準	○	○	○
ウォッシャータンク	ウォッシャー液切れを防ぐため、タンクの容量をアップしています。	4.8L *1	2.5L *1	○	○	○
リヤフォグランプ	霧・雪・雨などにより視界が悪い時にクルマの存在を後続車に知らせるための赤色灯です。（ <a href="#">下図2参照</a> ）	あり	なし	○ *2	○ *2	○ *2
フロントヒーター	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補助装置（電気式補助ヒーター）です。エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。即熱性があるため、短時間で暖房がききます。	補助ヒーター（P T Cヒーター）あり	補助ヒーター（P T Cヒーター）なし	○	- *3	○
オルタネーター	発生電流量を上げて、冬場の電装品の使用頻度増加に対応しています。	130A	100A	- *4	- *5	○

■ バッテリーは、寒冷地仕様を手配しても変わりません。

\*1 数値は参考値をご案内しております。車両の状態や測定方法などで異なりますので、目安としてご覧ください。

\*2 リヤフォグランプと寒冷地仕様はセットでメーカーオプションです。

\*3 補助ヒーター（P T Cヒーター）ありが標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。

\*4 ターボ車は、専用のオルタネーターが装着され、標準仕様・寒冷地仕様とも150Aとなります。

\*5 ハイブリッド車は、駆動モーターを使用して発電しているため、ガソリン車のようなオルタネーターはありません。

**<上記寒冷地仕様以外でおすすめの装備>**

装 備	説 明
ウィンターブレード *6	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムカバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

\*6 ウィンターブレードは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択しない場合でも、選択できます。

図1



■写真はターボ車（GR SPORT以外）

図2

<GR SPORT 以外>



■写真はガソリン車

<GR SPORT>

